



弥一右衛門は

外の人の言ひ附けられてする事を、言ひ附けられずにする。外の人の申し上げてする事を申し上げずにする。併しする事はいつも肯綮に中つてゐて、間然すべき所が無い。弥一右衛門は意地ばかりで奉公して行くやうになつてゐる。忠利は初めなんとも思はずに、只此の男の顔を見ると、反対したくなつたのだが、後には此男の意地で勤めるのを知つて憎いと思つた。

『阿部一族』

「あの縁にゐた三人

目の男を見知つたものは無いか。」
側には本多正純を始として、十余人の近臣がゐた。案内して来た

其時横田申候は、
仮令

主命なりとも、香木は無用の翫物に有之、過分の大金を擲候事は不可然、所詮本木を伊達家に譲り、末木を買求めたき由申候。某申候は、某は左様には存じ不

鷗外の

『意地の』

はなし

歴史小説『阿部一族』を中心に

宗もまだ残つてゐた。併し意味ありげな大御所の詞を聞いて、皆暫く詞を出さずにゐた。稍あつて宗が危ぶみながら口を開いた。

「三人目は喬兪知と申しまする

佐橋甚五郎』

申、主君の申附けられ候は、珍らしき品

を買ひ求め参れとの事なるに、此度渡来候品の中にて、第一の珍物は彼伽羅に有之、其木に本末あれば、本木の方が尤物

中の尤物たること勿論なり、それを手に

『興津弥五右衛門の遺書』

入れてこそ主命を果すに当るべけれ、伊

達家の伊達を増長為致、本木を譲り候ては、細川家の流を潰す事と相成可申と申



明治座で上演された『阿部一族』。右より二人目が阿部弥五兵衛を演じる伊井碧峰。('演芸画報' 7年6号 大正2年6月より)

2024年 7/5 (金) — 10/6 (日)

【休館日】 7/22 (月)・23 (火)、8/26 (月)・27 (火)、9/24 (火)・25 (水)

【開館時間】 10時～18時 (最終入館は17時30分) ※7月9日 (火) は9時より開館、8月3日 (土) は20時まで開館 (最終入館は19時30分)

【会場】 文京区立森鷗外記念館 展示室2 観覧料：一般300円 (20名以上の団体：240円)

◎中学生以下無料、障害者手帳ご提示の方と介護者1名まで無料 ◎文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット (押印入)、友の会会員証ご提示で2割引き
◎その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。 ※8月3日 (土) は区民無料観覧日 (文京区内在住・在勤・在学者対象、要身分証明書)

鷗外の

『意地』の

はなし

歴史小説『阿部一族』を中心に

森鷗外が歴史小説の執筆を始めたのは、大正元（1912）年9月13日、明治天皇大葬の日に陸軍大将・乃木希典が殉死したことがきっかけです。わずか5日後、初めての歴史小説『興津弥五右衛門の遺書』を書き終え、続けて『阿部一族』『佐橋甚五郎』を執筆しました。同2年、この三作品を収録した初めての歴史小説集『意地』（榎山書店）を刊行します。既に文学者として豊熟期を迎えていた鷗外ですが、「観察」「時代の背景」「心理描写」に重点を置き、「新しい意味に於ける歴史小説」（鷗外『意地広告文』）を試みました。

『興津弥五右衛門の遺書』『阿部一族』では細川氏（熊本藩主）や家臣、『佐橋甚五郎』には徳川家康と家臣が登場し、それぞれが抱える意地が描かれています。鷗外は歴史に埋もれた逸話を小説に蘇らせることで、自らが生きる時代や社会と向き合いました。

大正時代の鷗外が執筆した江戸時代の物語を、現代の私たちが読むことで何が見えてくるでしょうか。館蔵資料や作品を読んで文学者たちの言葉などをおして、鷗外の『意地』のはなしの入り口へとご案内します。



鷗外『阿部一族』
（中央公論）28年1号 大正2年1月
鷗外の歴史小説二作目。藩主に許されなかった殉死に始まる阿部一族の悲劇を描く。



鷗外『意地』榎山書店 大正2年
鷗外初めての歴史小説集。『阿部一族』『興津弥五右衛門の遺書』『佐橋甚五郎』を収録。



石黒忠恵筆鷗外宛葉書
大正2年6月22日
石黒は軍医で鷗外の元上司。『意地』を読み進め、夕刻から『佐橋甚五郎』を読むことを楽しみにしていると伝える。



鷗外『阿部一族 他二篇』
岩波書店 昭和13年
『意地』と同じ三作品を収録した文庫。解説は歌人の斎藤茂吉。現在も刊行が続く。

〈講演会〉

「鷗外にとって歴史史料とは」

鷗外は史料を尊重し「歴史其儘」に書きましたが、歴史事実とかなり異なります。依拠史料から理由を探ります。

講師：藤田覚氏（東京大学名誉教授）

日時：2024年9月16日（月・祝）14時～15時30分

会場：文京区立森鷗外記念館 2階講座室

定員：50名（事前申込制）

料金：無料（参加票と本展覧会観覧券〔半券可〕が必要）

申込締切：9月2日（月）必着

〈朗読会〉

「『阿部一族』を読む」

朗読：内木明子氏（朗読家、早稲田大学・相模女子大学非常勤講師）

日時：2024年8月31日（土）14時～15時30分

会場：文京区立森鷗外記念館 2階講座室

定員：50名（事前申込制）

料金：1500円

申込締切：8月19日（月）必着

〈申込方法〉

●往復はがき

往信に「〇月〇日イベント」・氏名（ふりがな）・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連イベント」受付係までご応募ください。

●Eメール

件名に「〇月〇日イベント」、本文に氏名（ふりがな）・電話番号・Eメールを明記の上、bmk-event@moriogai-kinenkan.jp にご応募ください。

※申し込みは、1通につき1名様（お一人様1通まで）、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

※ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

2024（令和6）年7月5日（金）～10月6日（日）

開館時間 | 10時～18時（最終入館は17時30分）

休館日 | 7月22日（月）・23日（火）、8月26日（月）・27日（火）、
9月24日（火）・25日（水）

観覧料 | 一般300円（20名以上の団体：240円）

※7月9日（火）は9時より開館、8月3日（土）は20時まで開館（最終入館は19時30分）

※8月3日（土）は区民無料観覧日（文京区在住・在勤・在学者対象、要身分証明書）

モリキネカフェ 10時30分～17時30分（ラストオーダー17時）

〈ギャラリートーク〉

いずれも申込不要、高校生以上は展示観覧券が必要です。

◎学芸員によるコレクション展ギャラリートーク

日時：7月31日、9月18日 いずれも水曜日14時～（30分程度）

◎大学生有志によるコレクション展ギャラリートーク

日時：9月1日（日）11時～／13時～（30分程度）

◎学芸員による子ども向けギャラリートーク

ワークシートを手に、当館学芸員と共に鷗外の生涯（常設展示）をめぐります。

日時：8月25日（日）13時～（30分程度） 対象：小学校4年生から

〈鷗外忌記念展示〉

7月9日の鷗外命日（鷗外忌）にちなみ、鷗外「遺言書」の原資料を展示します。また、鷗外忌当日は9時から開館し、展示を観覧された方にオリジナルしおりをプレゼントします。

「遺言書」展示期間：7月5日（金）～31日（水）の開館日

〈交通のご案内〉

●電車

東京メトロ千代田線「千駄木」駅1番出口徒歩5分／東京メトロ南北線「本駒込」駅1番出口徒歩10分／都営三田線「白山」駅A3番出口徒歩15分／JR線・京成線「日暮里」駅西口徒歩15分

●バス

都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車徒歩1分／都営バス上58番系統「団子坂下」下車徒歩5分／Bーぐる千駄木・駒込ルート「19特養ホーム千駄木の郷」下車徒歩5分

※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。



文京区立森鷗外記念館

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 電話：03-3824-5511

URL：<https://moriogai-kinenkan.jp>

次回展示 特別展「葉書の世界～文人・美術家・ジャーナリスト（仮称）」 2024年10月12日（土）～2025年1月13日（月・祝）